

# 第4回POTTプロジェクト全国大会 報告

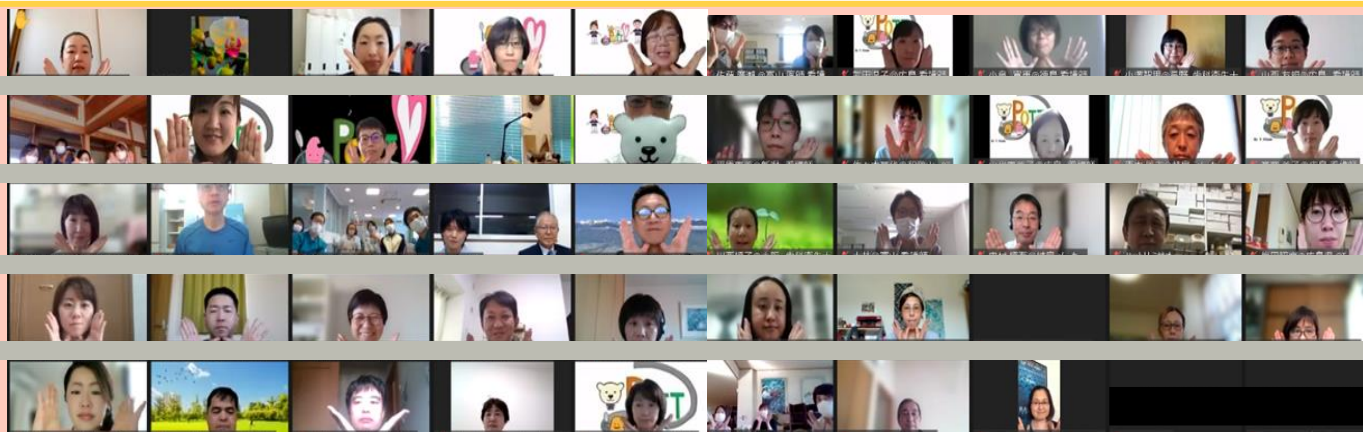
コロナ禍が続く中で、食べる喜びは全ての人々の大きな願いとなっています。POTTプロジェクトでは、その願いを受け安心して安楽なポジショニングを全ての人に届けたいと活動をしています。今回の第4回全国大会は、「新たな伝承と定着を目指して」というテーマのもと、オンラインでの開催となりましたが、86名の方にお申し込みをいただき、熱気の籠った大会を開催することができました。

日時： 2022年5月29日(日) 13:00～16:00

参加申し込み者：86人(医師、看護師、PT、OT、管理栄養士、介護福祉士、歯科衛生士他)

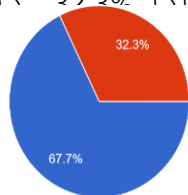
プログラム：

1. POTTプロジェクト活動報告・活動方針等
2. 講演「基本姿勢の見方（応用編）、ポジショニングの技」  
講師：北出貴則氏先生（和歌山県 誠佑記念病院）
3. 参加者交流 グループワーク
4. 活動報告 食べる喜びを伝える“ものづくり”
  - 1) ものづくりの意義とプロセス POTTプロジェクト 迫田綾子
  - 2) 多機能車椅子用テーブルの特徴と工夫 第一ボデー株式会社
  - 3) クッション類で創る喜びから食べるとる喜びへ 株式会社コーポレーションパールスター
  - 4) 介護現場におけるテーブル等開発用品導入と評価 特別養護老人ホーム清鈴園

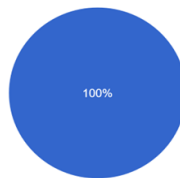


【終了後アンケート】 回答：31件

1. 自施設でポジショニングに取り組んでいる  
はい：32.3% いいえ：67.7%



2. 学習会は参考になりましたか。  
100%



参加経験

初回 17人  
1回 11人  
2回 13人  
3回 10人  
それ以上33人

### 3. 参考になった内容

- ・北出先生の姿勢の講義で、着目すべき視点とその要因が整理できました。
- ・ポジショニング用具が参考になった。
- ・車いすでのポジショニング方法、補助具の使用法例。
- ・テーブルに足台がついていて、固定もされているので動かないし、いいなと思いました。
- ・車椅子で安定して座れないことが理由で、ベッドで食べることになってしまっているという事
- ・事例検討における改善方法の内容。
- ・車いす上での不良姿勢は環境による要因が大きいということ。
- ・基本的な姿勢の見方、不良姿勢の原因、対処方法、グループワーク内での意見。
- ・症例検討でグループでディスカッションし、情報交換できたこと、他。

\* 新規会員登録11名  
施設賛助会員1施設  
今後ともよろしくお  
願いします。

⇒2ページへ続く

#### 4. 要望や意見

- ・演習を希望します。
- ・笑テーブルは初めて知りました。良い補助具のシェアをお願いしたい。
- ・多機能車いすテーブルやUIクッションを紹介していただき、ありがとうございました。上肢の重みをサポートするために、ブーメランクッションを使用していましたが、クッションが大きいので困っていました。UIクッションだと摩擦で保持できるのと、市販のブーメランクッションより小さいので、用途の幅が多く、使用してみたい。
- ・継続して参加したいです。また、自施設のスタッフにも参加してもらえよう働きかけます。
- ・少人数制で各地開催から再開できるよう検討できればと思います。
- ・POTT道場のようなことを、今後もつづけていただきたい。
- ・グループワークは、学びになりますので引き続き参加したい。
- ・車イスから椅子に向けての方法があれば教えて欲しい⇒基本のポジショニングは同様。体幹の耐久性の有無を評価し移行します。
- ・不良姿勢の要因は、何らかの患者の苦痛のサインであることを自覚し、安楽な姿勢が保持できるように要因を考えて環境調節を図りたい。
- ・ものづくりなどは政策へのアプローチが必要になることを感じました。それこそ環境改善です。今後は、そちらの方面に精通する方々への参加を呼び掛けても良いのかと考えました。
- ・良いポジショニングを広めたいと思っているが、その広め方をレクチャーしていただきたい。

#### 5. 改善点

- ・グループワークの時間配分の調整・グループで交流は、もう少しリラックスして参加したい

#### 【まとめ】

活動報告では昨年度はオンラインでの学習会が定着し、POTTの輪を全国に広めることができたこと。今年度の計画ではリアルでのPOTT研修会の開催とその可能性を図るため、POTT道場の開催に向けての計画も提案されました。講演では「基本姿勢の見方（応用編）ポジショニングの技」ということで、北出貴則氏先生の講義では不良姿勢を見た場合は、不良姿勢の要因を考えること、不良姿勢は、環境の影響を大きく受けていること。人ばかり見るのではなく、ベッドや車いす等の環境要因をアセスメントすることを学びました。事例検討ではグループで意見交換を行い、多職種の意見を聞くことができました。参加者の皆様には自施設でのスキル活用のヒントを得てもらうことができたのではないのでしょうか。

活動報告 食べる喜びを伝える“ものづくり”ではあったらいいなが形になって、開発された食事用テーブルやUIクッションを、モノづくりのプロとして企業の立場から、また現場の立場から報告がありました。使ってみたい！との、たくさんのご意見がありました。

「技術を伝承する」といった根本的な目的を果たすためには、やはり同じ空間で、講師と参加者が同じ目線で実施できる対面での研修を早く再開したいという思いも募ります。新型コロナとの折り合いが付き、早く皆様と対面での研修会が開催できることを願っています。

⇒広島県が多職種連携で開発した、

#### POTT多機能食事用テーブル

#### UI (U-I) クッション

- テーブル；折り畳み式、高さ調節  
足台付き、両肘長く安定姿勢が取れます。
- UIクッション；形が自由に換えられ  
滑らず安定、洗えます。



#### ● 学習会予定

第9回POTT学習会	8月20日	講演+事例検討	担当：九州ブロック
第10回POTT学習会	10月	講演+事例検討他	担当：関東ブロック
第11回POTT学習会	12月	活動・事例検討	担当：東北ブロック
第12回POTT学習会	2月	講演+事例検討他	担当：北陸ブロック

